

職業能力開発分野の関連施策に係る取組状況 (令和4年度)

施策1 誰もが自分らしく活躍できるための人材育成

(1) 若年者

① 国際たくみアカデミー、木工芸術スクールにおける職業能力開発

＜国際たくみアカデミー・木工芸術スクール概況＞

(単位：人)

校名	訓練科	課程	訓練 期間	定員	入校者	定員 充足率	就職 決定率	目指す資格例
国際たくみアカデミー 職業能力開発短期大学校	生産技術科	専門	2年	1年:20	18 (13)	90% (65%)	100% (20/20)	技能検定(普通旋盤 作業、フライス盤作業 等)
	建築科			2年:20	20 (20)	100% (100%)		
国際たくみアカデミー 職業能力開発校	自動車 エンジニア科	普通	2年	1年:20	14 (13)	70% (95%)	100% (16/16)	2級建築士
				2年:20	17 (16)	85% (80%)		
	住宅建築科	短期	1年	10 (7)	50% (35%)	100% (10/10)	技能検定 (大工工事作業)	
設備システム 科	1年		10 (11)	100% (110%)	100% (8/8)	技能検定 (建築配管作業)		
木工芸術スクール	木工科	普通	1年	30	30 (28)	100% (90%)	100% (28/28)	技能検定(家具手加 工作業)
				計 180				

* 入校者のカッコ内は R5年度入校者

* 定員充足率＝入校者(2年是在校者)／定員 * 100、R4.4 入校時現在

* 就職決定率は、R4 年度修了者の R5.3 末の状況 (就職決定率＝就職者／就職希望者 * 100)

* 直近5年間の入校・就職状況については、別添2のとおり。

＜具体的な取組み＞

○入校生の実情を踏まえた広域的な入校生募集方法の導入、取組みの強化

- ・ SNS (インスタグラム・フェイスブック、LINE等) を活用した情報発信。
- ・ ホームページの更新やプロモーション動画での広報。
- ・ 県内高校の個別訪問による PR 活動。＜R4：たくみ 41 校、木工 66 校＞
- ・ オンラインでの入校相談会の開催 (木工)

○技能・技術の変化や進展及び産業界のニーズに対応した訓練カリキュラムの構築

- ・初歩的なカイゼン提案ができる人材（生産技術科）や社会人としての基礎的なマナーを持つ人材を育成するカリキュラムを実施。（たくみ）
- ・修了生からの意見を参考に、訓練内容のブラッシュアップを実施。（木工）

○「飛驒の家具」をはじめとした木工産業の技能継承に向けた訓練カリキュラムの充実

- ・「現代の名工」など地元の熟練職人を講師に招き訓練を実施。（木工）

② 就職活動段階における社会人・職業人としての基礎的能力の養成

<具体的な取り組み>

○離職者等委託訓練における企業ニーズに応じた訓練コースの設定

- ・ハローワークに求職申込みをしている離職者を対象とした、早期再就職に必要な知識・技能を習得する職業訓練を、民間教育訓練機関等に委託して実施。
- ・職業ごとに必要な知識・技能に加え、ビジネスマナーやコミュニケーションスキル等の社会人基礎力を習得する訓練を実施。
- ・令和2年度から、就職氷河期世代を主対象に、パソコンスキルを身に付け、正社員として就職することを目指すコースを実施。
- ・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による離職者等の増加を想定して、下半期実施訓練を9コース（定員140人）追加設定。

【令和4年度実施状況】

実施コース数 52 コース、入校者 702 人、定員充足率 80.8%

訓練分野		設定 コース数	定員 (人)A	開講 コース数	入校者 (人)B	定員充足率 B/A
事務	情報ビジネス	13	215	13	193	89.8%
	情報ビジネス(就職氷河期)	1	20	1	12	60.0%
	IT活用	2	40	2	21	52.5%
	総務・経理事務	7	140	7	130	92.9%
	医療事務	5	100	5	80	80.0%
製造	CAD	3	45	3	30	66.7%
建設	建設機械運転	2	30	2	20	66.7%
情報	新情報産業	3	60	3	53	88.3%
	Webプログラミング	4	65	4	65	100.0%
不動産	不動産ビジネス	1	15	1	15	100.0%
介護	介護員(初任者)	3	45	3	30	66.7%
	定住外国人(介護初任者)※	3	45	2	11	24.4%
	介護福祉士(2年間)	2	23	2	14	60.9%
保育	保育士(2年間)	3	26	3	20	76.9%
	産業人材育成(CAD)	1	15	1	8	53.3%
	ものづくり技能※	1	15	0	0	0.0%
	合計	54	899	52	702	80.8%
※「介護員初任者(定住外国人)」「ものづくり技能」のそれぞれ1コースは不開講						
※ 定員充足率は不開講のコースの定員は含めず計算						

【令和3年度就職実績】

実施コース数 52 コース、就職者数 565 人、就職率 79.0%

訓練分野	コース数	入校者 (人)	中退者 (人)	就職実績		
				うち就職者	修了者 (人)	うち就職者※2
情報ビジネス	15	215	27	22	187	141
総務・経理事務	7	118	15	11	102	73
医療事務	6	98	11	2	87	74
不動産ビジネス	2	30	3	1	27	14
CAD	3	42	5	3	37	32
介護員養成	2	30	0	0	30	27
定住外国人	1	6	0	0	6	6
モノづくり	-	-	-	-	-	-
Webプログラミング	3	60	5	4	54	52
新情報産業	4	53	3	1	50	35
IT活用	2	30	3	1	27	21
建設機械運転	2	30	3	2	27	9
介護福祉士(2年間)※1	2	20	3	0	17	17
保育士(2年間)※1	3	20	4	1	16	16
	52	752	82	48	667	517

※1 介護福祉士・保育士(2年間)については、R3年度入学生の就職状況(R3年4月～R5年3月卒業)を計上
 ※2 修了者うち就職者数は、訓練修了後3ヶ月以内に就職した者の数
 ※3 就職率=(中退者うち就職者数+修了者うち就職者数)/(中退者うち就職者数+修了者数)

○若者サポートステーションにおける社会的・職業的自立支援の実施

- ・臨床心理士によるメンタルカウンセリングの実施。<R4：相談件数 97 件>
- ・企業と連携したジョブトレーニングの実施。<R4:参加者数 111 人>
- ・各種セミナー（就労スキルアップセミナー、ソーシャル・スキル・トレーニング等）の開催。<R4:実施回数 338 回>
- ・保護者向け相談会、出張相談の実施。<R4:利用者数 71 人>

○ジンチャレ！における就職支援セミナーの実施

- ・一般求職者、学生・第2新卒等の対象者別に、就職活動に必要な知識やスキルの習得を目的としたセミナーを開催。
 - 一般求職者向けセミナー <R4：12 回、受講者数 73 人>
 - 学生・第2新卒等向けセミナー <R4：22 回、受講者数 148 人>

③ 教育段階からの職業教育、産業人材育成

<具体的な取組み>

○高校生インターンシップ事業を推進し、勤労観・職業観を育成

- ・豊かな人間性を育むとともに、職業観、勤労観を身に付け、主体的に進路を選択する能力や課題を解決する資質や能力などの「生きる力」を育成するため、全県立高校でインターンシップを実施。<R4 実施状況：58 校、参加者数 6,017 人>

○熟練技能者等の教育現場への派遣による技能尊重気運の醸成、実践的技能の習得

- ・岐阜県職業能力開発協会が、若年技能者人材育成支援等事業（厚生労働省委託事業）により、モノづくりマイスターの派遣による技術指導等各種施策を実施。
<R4：派遣状況 高等学校 派遣校 11 校、受講者数 861 人>

○工業高校生の技能・技術向上を目的とした公共職業能力開発施設を活用した研修の実施

- ・国際たくみアカデミー及び東海職業能力開発大学校において、工業高校生を対象に、製造業の現場で活躍する講師から、技能・技術を学ぶ「社会人講師派遣合同交流会」を開催。<R4：4 講座、受講者数 57 人>

○産学金官連携による人材育成

- ・教授・学生への県内企業魅力PR事業（企業実習）の実施

→県内企業の経営者等による講義や、企業の課題解決をテーマとする現地実習を大学の単位が取得できる正規の授業として実施。

<R4：参加学生数 岐阜大学工学部機械工学科3年生 152 人、受入企業数 15 社>

→学部共通授業として、学生が企業取材し、紹介冊子を作成。

<R4：参加学生数 30 人>

- ・県下最大規模のプレ就活イベント「オール岐阜・企業フェス」を対面とオンラインのハイブリット型で令和5年2月21日から2月24日まで開催。

<R4：参加者数 1,710 人（大学生 943、高校生 664、保護者等 103）、
出展企業数：367 社>

- ・対象者を高校生に限定した「高校生の日」を令和5年3月11日に開催。

<R4：来場者数 310 人（高校生 285、保護者等 25）、出展企業数 87 社。>

(2) 女性

① 女性の再就職に向けた職業能力開発

<具体的な取組み>

○託児サービス付き訓練の実施

- ・「離職者等委託訓練」において託児サービス付き訓練コースを設定。

<R4：設定コース数 36 コース（定員 112 人）、利用児童数 11 人>

○女性の活躍支援センターにおける個々の女性の状況に応じたサポートの実施

- ・女性の活躍支援センターにおいて、子育てや仕事と家庭の両立などに悩む女性に対する相談業務や再就職支援等を実施。〈R4：相談件数 669 件〉
- ・子育て、仕事と家庭の両立、再就職や職場復帰に不安を抱える女性の様々な悩みの解決に向けた「マインドアップ講座」を開催。〈R4：5 回開催、参加者数 延べ 96 人〉
- ・岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業が参加する合同企業説明会を開催。〈R4：1 回開催、参加者数 11 人〉

② 企業における女性の活躍支援

＜具体的な取組み＞

○製造業等に在職する女性の活躍を推進する研修の実施

- ・「モノづくり女子塾」
モノづくり企業で働く女性がリーダーとして活躍するための知識とスキルを学ぶ講座
〈R4：受講者数 29 人〉
- ・「モノづくり女子塾（基礎）」
リーダーとなる前の女性社員を対象とし、専門的な技能や組織における役割等の内容を学ぶ講座〈R4：受講者数 17 人〉

○企業の経営層や管理職等を対象とした啓発等の実施

- ・「イクボス養成講座」
経営者の意識改革に効果の高い実践的な講座 〈R4：1 回、参加者数 72 人〉
- ・「企業（団体等）内研修」
企業が職場の従業員等を対象に行う研修に講師を派遣
〈R4：9 社、参加者数 延べ 188 人〉
- ・「女性の継続就業支援事業」
女性のキャリア形成や継続就業について、企業等と女性従業員の両者が課題の共有化を図るための講座・検討会 〈R4：10 社、参加者数 延べ 94 人〉

(3) 障がい者

＜具体的な取組み＞

○相談から職業訓練、就職先とのマッチング、職場定着までトータルでサポートする「岐阜県障がい者総合就労支援センター」の整備

- ・令和 2 年 4 月に、障がい者の一般就労を促進し、相談から訓練、マッチング、職場定着までトータルサポートする拠点として、ぎふ清流福祉エリア内に「岐阜県障がい者総合就労支援センター」を開所。
- ・就労相談・職業訓練・職業紹介・職場定着の各段階で支援する機関を設置し、各機関の情報共有を図ることにより、障がい者・企業の状況に応じた支援を実施。
就労相談：岐阜県障がい者雇用企業支援センター
職業訓練：岐阜県立障がい者職業能力開発校
職業紹介：岐阜県立ハローワーク

職場定着：障害者就業・生活支援センター

○「岐阜県障がい者職業能力開発校」の開校

- ・令和2年4月に、岐阜県障がい者総合就労支援センター内に「障がい者職業能力開発校」を開校。

【訓練内容】

訓練科	課程	期間	定員	訓練内容
基礎実務科	短期	1年	10人	一般事務、介護補助、清掃補助、販売補助などの訓練で基礎的技能を習得
OAビジネス科		1年	10人	パソコン操作や簿記など、事務職に必要な技能を習得
Webデザイン科		1年	10人	Webデザインに関する専門技術を習得

【令和4年度入校・修了・就職状況】

訓練科	定員	入校者	障がい内訳			修了者	就職者 ※1
			知的	精神・発達	身体		
基礎実務科	10人	10人	7人 ※2	4人 ※2	—	8人	9人
OAビジネス科	10人	10人	2人 ※2	6人 ※2 ※3	4人 ※3	9人	9人
Webデザイン科	10人	10人	2人 ※2	5人 ※2	4人	5人	6人

※1 就職者には、就職退校者4人を含む。 ※2 重複障害（知的と精神・発達）各科1人（計3人）

※3 重複障害（身体と精神・発達）1人

【(参考) 令和5年度入校状況】

訓練科	定員	入校者	障がい内訳		
			知的	精神・発達	身体
基礎実務科	10人	9人	6人 ※1	5人 ※1	—
OAビジネス科	10人	10人	1人 ※1	7人 ※1	3人
Webデザイン科	10人	7人	—	6人	1人

※1 重複障害（知的と精神・発達）基礎実務科の2名及びOAビジネス科の1人（計3人）

○障がい者の能力や適性に応じた委託訓練、チャレンジトレーニング（短期職場実習）の実施

- ・「障がい者委託訓練」

障がい者の能力・ニーズに応じた職業訓練を、企業、社会福祉法人、NPO、民間教育訓練機関等に委託して実施。

<R4：修了者数 20人（うち就職者数 8人）>

- ・「障がい者チャレンジトレーニング事業」

採用意欲のある企業において障がい者の短期職場実習を実施。

<R4：実施人数 370人（うち就職者数 215人）>

○特別支援学校と連携した職業訓練・就労支援の実施

- ・「特別支援学校就職チャレンジコース（特別支援学校早期訓練コース）」
卒業年度の10月時点で就職先が内定していない特別支援学校高等部、高等学校等に在籍する生徒に対し、就職に向けた職業能力の開発・向上を目的とした訓練を実施。
<R4：対象者なし>

○「障がい者雇用拡大支援員」による企業への戸別訪問を通じた職場実習や求人の働きかけ

- ・県内全圏域に障がい者雇用拡大支援員を配置し、企業への個別訪問による職場実習先や就職先の開拓等を実施。
<R4：訪問事業所数 908 社、実習受入可事業所数 261 社、
実習実施人数 133 人、求人申込可能事業所数 234 社、就職者数 80 人>

○「精神障がい者就労支援ワーカー」の配置による精神障がい求職者への支援体制整備

- ・平成27年度に支援ワーカーを1圏域（中濃）にモデル的に配置。
- ・平成30年度に3圏域4ヶ所（岐阜北・岐阜南・中濃・飛騨）に拡充。
- ・令和元年度に県内全圏域に拡充。
<R4：就職支援件数 2,529 件、定着支援件数 2,333 件、
職場実習実施件数 39 件、就職件数 61 件>

○障がい者の職場定着を支援するジョブコーチの養成

- ・障がい者雇用における職場内支援者育成のため、「岐阜県障がい者職場活躍ナビゲーター養成研修」（オンライン）を実施。
<R4：2回、受講者数 28 人>

（4）中高年層

<具体的な取組み>

○中高年齢者の就業につながる離職者等委託訓練の実施

- ・離職者等委託訓練において、中高年齢者の受講ニーズも踏まえた訓練設定を実施。
<R4：40歳以上の訓練受講者数 361 人（全受講者の51%）>
- ・中高年齢層の受講者が多い傾向にある「総合オペレーション科」（物流や建設現場における機械オペレーターを育成するコース）を2コース設定。
<R4：40歳以上の訓練受講者数 18 人（受講者の90%）>

○生涯現役促進地域連携事業

- ・令和2年度から、岐阜県シルバー人材センター連合会や労使関係者、金融機関等と連携して、働き手となる高年齢者の発掘・育成、働く意欲のある高年齢者とその雇用に意欲的な企業とのマッチング、高年齢者の就業先の開拓・雇用環境整備に対する支援を一体的に実施。
- ・企業及び高年齢者を対象にニーズ調査を実施。

<R4：企業向け意識啓発セミナー 9回、参加社数 65社
高年齢者向け意識啓発セミナー 12回、参加者数 560人
企業と高年齢者との交流会 12回、参加社数 104社、参加者数 556人
企業向け相談窓口として、212社に対して相談対応を実施。
優良企業事例集を 5,000部作成し、県内企業等に配布。>

施策2 成長産業を担う人材育成の推進

(1) 航空宇宙分野

① 在職者の技能・技術等の向上、新規参入を促進するための人材育成

<具体的な取組み>

- 「岐阜県成長産業人材育成センター」の開設及び航空宇宙産業技術者育成研修の実施
 - ・平成 28 年 11 月に、航空宇宙産業をはじめとした成長産業の人材育成拠点、県内産業を担う優れた産業人材の育成拠点として岐阜県成長産業人材育成センターを開設し、各種人材育成研修を実施。
 - ・航空機製造への新規参入を目指す中堅・中小企業の技術者を対象とした新規参入支援研修 <R4：受講者数 6人>
 - ・航空機製造の組立工程を担う技能職として必要な基本的な知識と技能を習得する現場技能者研修 <R4：受講者数 1人>
 - ・製造した航空機部品の品質を担保する非破壊検査に必要な知識・技術を習得する非破壊検査技術者研修 <R4：受講者数 3人>

② 若年者の獲得及び定着

<具体的な取組み>

○航空宇宙産業セミナー及び企業見学の実施

- ・県内工業高校生の航空宇宙産業への就職意欲を喚起するとともに基礎知識・基礎技能を向上するため、高校生を対象に、航空宇宙産業の魅力等を伝えるセミナーや県内航空宇宙産業関連企業への工場見学を実施。
<R4：10回開催 受講者数 342人>

○航空機製造技術体験研修（組立技能実習）の実施

- ・県内高校生を対象に、航空機の製造に必要な知識や技術を学ぶ航空機製造技術体験研修及び航空機部品等の設計に必要な知識や技術を学ぶ CAD/CAM 体験研修を実施。
<R4：受講者数 55人>

○岐阜工業高校における「モノづくり教育プラザ」の整備及び加工・組立実習等の実施

- ・平成 29 年 4 月に、岐阜工業高校を県内唯一の航空宇宙産業教育の中核拠点校として、産学官が連携した産業教育を実施するため、県内工業高校が供用利用できるモノづくり教育プラザ（1号館）を整備し開所。
- ・1号館に続き、岐阜工業高校内に、実機を活用した実習や航空機部品の設計・検査を学ぶ実習施設としてモノづくり教育プラザ2号館を整備し、平成 31 年 4 月に開所。

- ・同校生徒を対象に、産業界の協力のもと航空機の一連の製造工程（設計、製造および検査）を実践的に学ぶ「航空機製造工程実習」を実施。〈R4：参加者数 8人〉
- ・夏休み期間を利用し、県内高校生を対象に「航空機製造技術体験研修」「航空宇宙産業CAD/CAM体験研修」を実施。〈R4 受講者：航空機製造技術体験研修 13人
航空宇宙産業CAD/CAM体験研修 42人〉

（2）ヘルスケア（医療福祉機器・医薬品・食品）分野

＜具体的な取組み＞

○岐阜県医療福祉機器開発セミナーの実施

- ・自動車や機械部品などの製造業が、自社のコア技術を活かして、今後成長が見込まれる医療機器または福祉機器分野に参入または事業拡大していくことを支援するため、その取組みを推進できる実務者を育成する研修を開催。
〈R4：医療機器分野 7回、受講者数 延べ 135人、
福祉機器分野 5回、受講者数 延べ 35人〉
- ・最新の業界動向、成功事例、最先端研究、技術動向などに関するセミナーを開催。
〈R4：医療福祉分野：1回、受講者数 24人〉

○医薬品・食品分野の製造技術や品質管理等に関するセミナーの実施

- ・医薬品・食品分野の中小企業の技術者を対象に、機能性表示や品質管理等、医薬品・食品分野における商品開発に必要な知識を習得するセミナー等を開催。
〈R4：受講者数 食品成分分析課程 43人、食品品質保持課程 43人、
食品製造課程 21人、食品特性評価課程 3人、清酒醸造実習 13人〉
- ・医薬品・食料品分野をはじめとする産業分野の商品の検査や梱包等、軽作業を代替できる最新のロボット導入を担う専門人材の育成を支援する研修を開催。
〈R4：26回、受講者数 延べ 168人〉

（3）次世代エネルギー分野

① 再生可能エネルギー、省エネルギー関連設備等の開発に要する技術者等の育成 ＜具体的な取組み＞

○岐阜県次世代エネルギー産業創出コンソーシアムと連携した先端技術講習会の開催

- ・岐阜県次世代エネルギー産業創出コンソーシアムの会員を対象に燃料電池、固体燃料をテーマに先端技術講演会を開催。〈R4：参加者数 25人〉

○次世代エネルギー技術の開発・製品化を目指すワーキンググループ活動の支援

- ・コンソーシアム会員で構成するワーキンググループが行う、次世代エネルギーに関する調査・研究等の活動に対し、コンソーシアムから補助金を交付。
〈R4：補助金交付数 5グループ〉

○「岐阜県次世代エネルギービジョン」に掲げる3つの重要プロジェクトの達成に必要な人材を育成するため、成長産業人材育成センターを活用した研修を開催

- ・再生可能エネルギーやエネルギーの地産地消に関する基礎知識を幅広く習得するための初心者向け研修を開催。〈R4：受講者数 74 人〉
- ・再生可能エネルギー事業を実施するために必要な専門的知識を習得するための中～上級者向け研修をテーマ（地域電力、木質バイオマス、地中熱、小水力、省エネルギー）ごとに開催。〈R4：6 回、受講者数 延べ 109 人〉

② 省エネルギー住宅の普及に要する人材の育成

〈具体的な取組み〉

○国際たくみアカデミー関係科における施工技術者等の育成

- ・関係科（建築科、設備システム科、住宅建築科）における人材育成
 〈R4：修了者数 建築科 16 人、設備システム科 8 人、住宅建築科 10 人〉
- ・海外連携事業によりドイツにおける最先端の次世代住宅施工カリキュラムを平成 30 年度から本格導入。訓練実施状況を踏まえ内容を見直しながら継続。
 建築科 …建築材料実験、建築プロジェクト実習、環境工学概論、
 基礎工学実験 I（基礎工学実験）
 設備システム科…住環境設備等、配管施工実習
 住宅建築科…建築設備、基礎工事实習、施工実習

○次世代エネルギー・技術を普及促進し、関連産業の振興を図るため、県内の住宅建築関連事業者を対象とした次世代住宅(省エネルギー住宅)に関する知識や技術を習得するための研修を開催

- ・次世代住宅（省エネルギー住宅）に関する基礎的な知識や技術を習得する研修を開催
 〈R4：2 回、受講者数 延べ 39 人〉
- ・ゼロエネルギーハウスの普及につながる省エネルギー住宅設計及び改修に関する知識や技術を習得する研修を開催。〈R4：5 回、受講者数 延べ 134 人〉

施策3 産業界のニーズに対応した人材育成

(1) 製造業における体系的な人材育成の推進

<具体的な取組み>

○階層別研修体系に基づく各種セミナー・講座の実施

- ・「工場長塾」

県内企業の工場長等を対象として、現場監督者に必要とされるモノづくりのリーダーとしての能力や、経営管理のスキル等を学ぶ講座<R4：受講者数 16人>

- ・「モノづくり女子塾」(再掲) <R4：受講者数 29人>
- ・「モノづくり女子塾(基礎)」(再掲) <R4：受講者数 17人>

○県工業系研究機関における専門研修の実施

- ・「中小企業技術者研修」

中小企業の技術者を対象に、専門的技術開発能力の向上、基礎的知識、及び専門知識の習得を目的とした研修を実施。<R4：受講者数 510人>

○国際たくみアカデミー、木工芸術スクールによる在職者訓練の充実

- ・地域の企業等のニーズを踏まえ、主に初心者又は若年層の在職者に対する基礎的な訓練を実施。<R4：実施数 43コース、受講者数 249人、修了者数 237人>
- ・「レディメイド型セミナー(公募型セミナー)」を地域の関連企業のニーズを踏まえた内容となるよう精査して実施。
- ・受講者の意見を踏まえ、平日夜間のコースを設定。

令和4年度 在職者訓練実績

【国際たくみアカデミー】									
	訓練科名	主な専攻科目	コース数	定員	受講者	うち女性	修了者	修了率	
1	機械加工科	2級フライス盤作業、2級普通旋盤 ほか	8	29	16	0	14	88%	
2	機械検査科	機械検査作業	2	15	9	0	9	100%	
3	機械・設計製図科	機械図面見方・読み方講座	3	29	21	5	21	100%	
4	建築科	ゼロから始める省エネ住宅施工技術	1	20	2	1	2	100%	
5	人事・労務科	コミュニケーションスキル講座(初級編) キャリアプラス講座ほか	5	90	27	2	27	100%	
6	制御システム設計科	PLC入門	1	10	4	0	4	100%	
7	生産管理科	ムダ取り推進講座(入門編)、 品質管理講座(入門編) ほか	7	122	26	3	26	100%	
8	電気工事科	電気工事士実技試験対策講習	1	1	1	0	1	100%	
9	配管科	配管技能講習A～E、技能検定対策講習	6	47	47	5	47	100%	
10	表装科	表具壁装作業	1	12	12		10	83%	
11	マイクロコンピュータ 制御システム科	IoT導入実践講座	2	20	18	1	18	100%	
12	屋根施工科	かわらぶき作業	1	5	1		1	100%	
【木工芸術スクール】									
1	木工科	3DCAD基本操作(フュージョン360)ほか	5	100	65	17	57	88%	
合計			43	500	249	34	237	95%	

(2) 技能振興、技能継承

<具体的な取組み>

○技能競技大会参加への支援

- ・技能五輪全国大会に出場する選手の技能強化を目的とした講習会の開催及び大会参加費用等の助成を実施。<R4：出場者数 12 人（うち銀賞 1 人、銅賞 1 人）>

○技能者顕彰制度の推進

- ・厚生労働省が行う卓越した技能者（現代の名工）の表彰に加え、県においても、技能者の社会的評価を高め、技能者の定着を図ることを目的に、40 歳以上の卓越した技能者を対象とした県知事表彰、40 歳未満の優秀技能者を対象とした商工労働部長表彰を実施。

【令和 4 年度実績】

(単位：人)

表彰区分		職種	人数
厚生労働大臣表彰	卓越した技能者 (現代の名工)	着付師	1
		木製家具・建具製造工	1
		西洋料理調理人	1
		かわらふき工	1
		金属加工機械組立工	1
		日本料理調理人	1
	技能検定功労者		3
県知事表彰	卓越した技能者	日本料理調理人	1
		飛騨春慶木地師	1
		配管工	1
		NC旋盤工	1
		婦人・子供服仕立職	1
		建築大工	1
		旋盤工	1
		プラスチック成形工	1
		和がさ製作工	1
		かわらふき工	1
		NC金属特殊加工機工	1
		アーク溶接工	1
		プラスチック塗布工	1
	木彫工	1	
木製運動用品製造工	1		
技能検定功労者		15	
商工労働部長表彰	優秀技能者	造園師	1
		建築大工	1
		NC金属特殊加工機工	1
		配電盤・制御盤・開閉制御機器組立工	1
		機械部品組立工	1

○技能士団体による技能フェスティバル等の開催支援

- ・「ぎふ技能フェスティバル」（主催：岐阜県技能士会連合会）
小・中・高校生など次代を担う子どもたちをはじめ、多くの県民に「モノづくり」や「技能」の魅力を知っていただくため、隔年実施している同フェスティバルの開催支援を実施。<R4：参加者数 約 6,000 人>
- ・「岐阜県職業能力開発促進大会」
職業訓練及び技能検定等職業能力開発関係者が一堂に会し、相互の連携を深めるとともに、技能振興功労者等を表彰。<R4：参加者数 216 人>

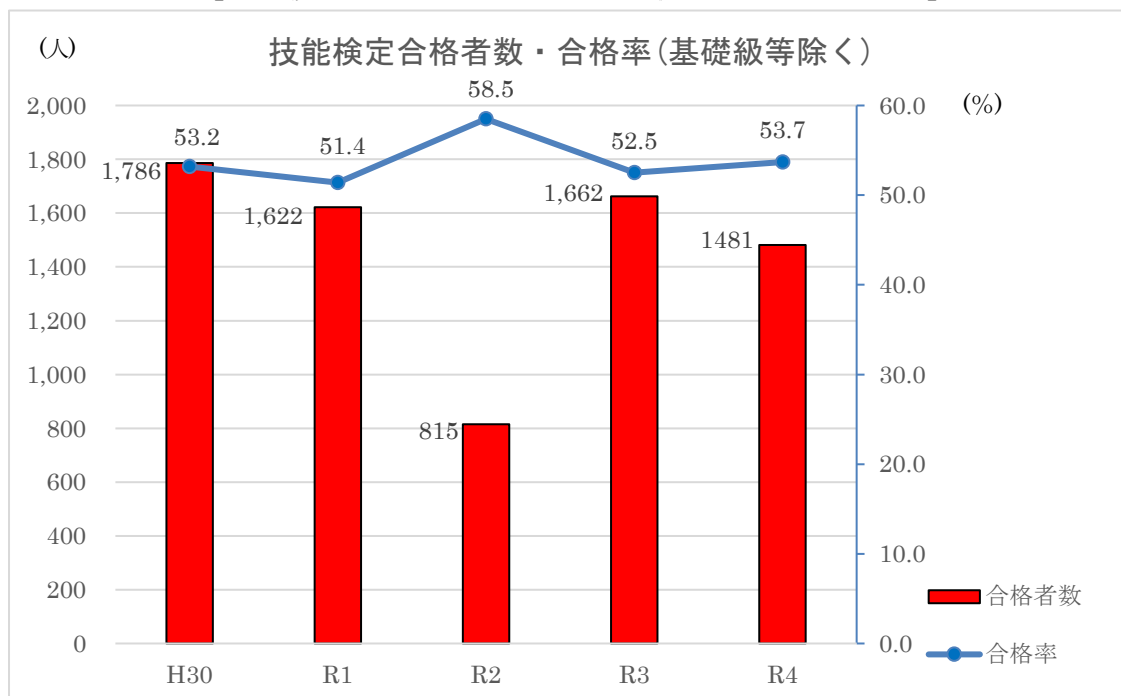
○熟練技能者等の派遣による小中学生への啓発、工業高校生の技能向上支援

- ・岐阜県職業能力開発協会が、若年技能者人材育成支援等事業（厚生労働省委託事業）により、モノづくりマイスターの派遣による技術指導等各種施策を実施。
<R4：派遣状況 高等学校 派遣校 11 校、受講者数 延べ 861 人>（再掲）

○高校生の技能検定受検の促進

- ・若者の技能検定受検を促進するため、平成 29 年度後期試験から、35 歳未満の 2 級及び 3 級の実技試験受検者の受検手数料の軽減を実施。
令和 4 年度以降は、対象を「25 歳未満の在職者」に見直し受験手数料の軽減を実施
<R4：減免対象者数 305 人>

【技能検定申請者数・合格者数の状況（別添 3 参照）】



(3) 人手不足分野にかかる人材育成・確保

<具体的な取組み>

○建設業界の人材確保に向けた関係団体との連携による訓練の実施及び入校生確保

(国際たくみアカデミー、木工芸術スクール)

- ・小中学生を対象に「ものづくり」や「しごと」の魅力を発信する「親子しごと体験教室」を業界団体協力のもと夏休みに開催。

<R4：参加者数 152 人>

- ・女性技能者等の交流を図るとともに、女性の目線で建設業界の仕事や技能の魅力を発信する「たくみ女子会」を開催。<R4：参加者 6 人>

- ・国際たくみアカデミーの生徒に対し、現代の名工やマイスター等による特別授業を開催。

「マイスターによる左官講習」<R4：建築科 8 回、住宅建築科 35 回>

「マイスターによる機械製図講習」<R4：生産技術科 10 回>

「マイスターによる機械加工講習」<R4：生産技術科 18 回>

(4) ITによるモノづくり産業の高度化に資する人材の育成

<具体的な取組み>

○産業技術総合センター(旧：情報技術研究所)における専門研修(中小企業技術者研修、講習会等)の実施

- ・中小企業の技術者を対象に、基盤技術の習得や、特定の産業分野に特化した専門知識を習得するための研修を実施。

「Deep Learning 講習会」<R4：1 回、受講者数 43 人>

「Python 講習会」<R4：1 回、受講者数 20 人>

「MZプラットフォーム研修」<R4：2 回、受講者数 26 人>

「データサイエンス講習会」<R4：1 回、受講者数 27 人>

「作業分析 AI 活用課程」<R4：1 回、受講者数 15 人>

「IoT システムの自社構築と運用」<R4：1 回、受講者数 16 人>

○IT技術者育成研修、次世代人材育成研修の実施

- ・県内の企業・団体等を対象に高度 IT・IoT に関する各種研修を実施したほか、次世代を担う高校生等を対象に IT をテーマとした人材育成研修等を実施。

「高度 IT・IoT 研修」<R4：40 講座、受講者数 249 人>

「IoT・IT 実践研修」<R4：8 講座、受講者数 102 人>

「次世代人材育成研修」<R4：受講者数 126 人>

○ソフトピアジャパンでのデジタル加工機、IoT 機器等のワークショップ

- ・ものづくり空間「Fab-core (ファブコア)」において、様々なテーマでワークショップを開催。<R4：9 回、受講者数 201 人>

○I o T指導者の育成研修の実施

- ・これまで育成した指導者等が、最新のI o TツールやA Iツール等を使って生産性向上等を支援できるようにフォローアップを実施 <R4：2日、受講者数 延べ39人>

(5) 中小企業、団体等による主体的な人材育成の支援

<具体的な取組み>

○認定職業訓練制度による支援

<認定職業訓練実施団体の状況（補助金交付団体）>

	事業所・団体名	課程	訓練科名	訓練期間	受講者
1	職業訓練法人岐阜県板金職業訓練協会	普通	建築外装系建築板金科	2年	17人
		短期	板金科	13時間	30人
2	職業訓練法人大垣地域職業訓練協会	短期	情報処理科	コースによる	33人
			左官施工科	192時間	4人
3	職業訓練法人岐阜理容美容職業訓練協会	短期	美容科	コースによる	159人
4	岐阜県冷凍空調設備協会	短期	冷凍空調和機器科	30時間	21人
5	岐阜県瓦葺組合	短期	屋根施工科	21時間	32人
6	職業訓練法人濃飛建設事業者職業訓練協会	普通	建築施工系木造建築科	2年	7人
		短期	木造建築科	32時間	5人
合計					308人

○職業能力開発協会による相談、援助、情報提供等

- ・岐阜県人材開発支援センターにて、技能労働者の職業能力の開発・向上等のため、相談や講習実施等を支援。

<R4：利用者数 延べ14,116人、利用日数 延べ895日>

○中小企業の人材育成・人材定着を支援

- ・県内中小企業の入社3年目までの社員を対象に、ビジネスマナーやコミュニケーション能力の向上及び新入社員同士の交流・仲間づくりを支援する「中小企業合同新入社員研修」を開催。<R4：5圏域で6回、受講者数 176人>